

小中交流会～第十四中学校へ 12/2 (金)

まずは、野畑小学校と北緑丘小学校の6年生が中学校の運動場前に集合してから、クラス単位で中学生の授業を見に行きました。私は中学3年生のクラスを見に行きました。理科や英語、数学の授業を見学しました。さすがは受験生授業も真剣そのものでした。子どもたちは、自分たちがついていけるかとても不安そうに授業を見ていました。

その後体育館に移動し、2校の6年生が全員集まりました。生徒会からの話を聞きました。生徒会が中学校の紹介をしてくれました。校則や制服についてミニコントを交えて楽しく説明してくれました。そのあとは、おまちかねのクラブ見学でした。どのクラブに入ろうかと真剣に悩みながら見ていました。最後は、野畑小の児童が代表してお礼を言って帰りました。

残り約三か月、充実した小学校生活を送り、4月からの中学生へ向けて、気持ちの準備をしていきましょう！



もし冬休み中にコロナウイルス陽性と判明したら・・・

- 連絡をいただく対象者・段階
 - ・対象者…児童本人。・段階…対象者の陽性が分かったとき（発症日と自宅待機がいつまで）
 - ※同居者の情報は連絡不要です。
- ～12月28日（水）・1月4日（水）～学校へご連絡ください。

8：30～17：00 野畑小（06-6849-7676）
- 12月29日～1月3日までの連絡は4日以降にお願いします。



12月6日全校朝会での話 ～子どもたちの人権について

12月10日は世界人権デーでした。日本では12月4日から10日までを人権週間としています。今年で74回目になります。

今年のテーマは「誰か」のことじゃないです。いったいどういう意味でしょうか？ちょっと難しいですが、今日は人権とはなにか皆さんと一緒に考えたいと思います。

「人権」とは「人の権利」と書きます。わかりやすいように言うと、「一人ひとりが大切にされ、幸せに生きること」です。子どもにとっての人権とは、きれいな水を飲み、栄養のある食べ物を食べ、清潔な服を着て、安全なおうちで過ごし、暖かいお布団で眠ることができる。学校で楽しく勉強をすることができ、友達と仲良く遊ぶことができる。そんな生活です。

「そんなの当たり前のことでしょう？」と思う人もいるかもしれませんが。けれども世界には、食べ物が無い、おうちが無い、勉強をしたくてもすることがゆるされないなど、皆さんが当たり前と思っているような生活が、あたりにできない子どもがたくさんいます。つまり、人権が守られていない子どもたちです。それだけではありません。もしかすると、みなさんの中にも、人権が守られない子どもがいるかもしれません。「しょうだんだよ、ちょっとふざけただけだよ。」と思っている相手の子は「なんでいつもぼくだけ、わたしだけ・・・かなしいなあ」といじめられて嫌な思いをしていたら、その子どもの人権は守られていないことになります。

（しあわせという絵本の読み聞かせをしました。）

どうでしたか。みなさんはどう思いましたか？

自分が言っていることやしていることは、相手の子をきずつ

てはいませんか？知らない間に友達の人権を傷つけないためには、相手の気持ちを考え、相手の事を理解しようとする「やさしい心」が大切だと私は思います。皆さんのまわりに辛い思いをしている人はいませんか。振り返ってみてください。と話しました。

このコロナ禍で子どもたちもストレスを抱える生活をしています。ちょっとした相手への気遣いでお互い気持ちの良い思いで生活できるのではないのでしょうか。

どんなのあたりまえ！？

みなさんの中に人権（じんけん）を奪われていない人はいませんか？

ひとりで、かなしいなあ、なんでいつもぼくだけ、わたしだけ・・・かなしいなあ

しょうだんだよ、ちょっとふざけただけだよ

せかい じんけん
世界人権デー

人権（じんけん）って？
ひとり たいせつ しあわせ
「一人ひとりが大切にされ、幸せにいきること」

